

校友会総会懇親会

顧問挨拶 三木千壽 学長



皆様、こんにちは。学長の三木でございます。

この会には毎年ご招待いただいているのですが、本年は東京都市大学校友会設立 10 周年の特別総会および懇親会ということで、改めて、10 周年を迎えられたことにお祝申し上げます。武蔵工業大学と東横学園女子短期大学が統合して東京都市大学が設立されたのが平成 21 年(2009 年)、その一期生の卒業に合わせて校友会が設立され 10 周年を迎えられたとのことでございます。伝統ある 2 つの大学が統合すること、大変難しいことであり、更には、それぞれ長い伝統を持つ同窓会の統合はもっと大変なことであったと拝察いたします。

さて、東京都市大学が誕生して 14 年ですが、統合によって、様々なプラスが生まれています。この間、大学はどんどん発展しました。現在、大学の組織は、8 学部 2 研究科の構成になっています。また、その全ての学部において、入学志

願者数は大変良好な状況であります。少子化等もあり、全国的には 40% 超える私立大学が定員割れを起し、経営の危機を迎えており、いくつかの大学は閉校に至っている状況にありますが、お蔭様で本学は順調に運営できていると言えます。

最近、文部科学省からの様々な教育や研究プログラムが公募となり、審査されますが、応募できるプログラムは積極的に応募し、採択されてきました。しばしば話題にしてきました私立大学改革総合支援事業プログラムは、このところ全ての部門で採択され続けています。電車の窓上広告などで宣伝というか自慢させていただいておりますが、ぜひ、皆様も本学の動きに関心を持っていただければと思います。

話は変わりますが、先ほど総会および講演会で使用された会場の 7 号館は、昨年 4 月にオープンしました。等々力にありました 2 学部が移転し、7 号館を主に使用しております。時間があれば見ていただきたいのですが、これまでのキャンパスとは異なります。開放的な空間、学生が床でゴロゴロできるような空間が私からのリクエストでした。2 階は国際フロアーになっており、学生たちも空間を楽しんでいます。武蔵工大卒業の多くの方々が過ごされた 10 号館も生まれ変わって昨年 9 月にオープンしました。教員と学生の距離の近さを実現、オープン化の研究室など工夫しています。廊下から研究室の様子が見えます。また、教員は学生のいるスペースを通して個人の研究室に行くようになっています。ぜひ、そちらも見ていただければと思います。

最後になりますが、2029 年には創立 100 周年を迎えます。100 周年に向け、さらなる発展をすべく教職員一体で努力をしております。私からは教職員へ都市大の次の 100 年プランの作成を依頼しています。校友会の皆様には、引き続き、ご支援をいただきたくお願い申し上げます。本日のご挨拶とさせていただきます。